

水稲育苗箱削減による省力栽培の導入・定着

カーボンニュートラルなお米づくり

活動年次：令和3年～

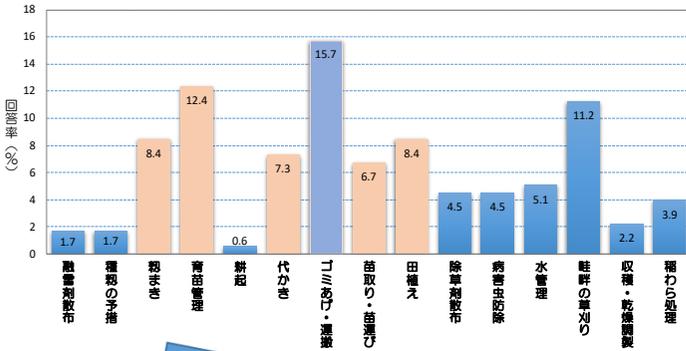
石狩農業改良普及センター本所

1 課題設定の背景 *****

対象：JA道央水稲生産部会千歳支部会員（12名）

現状の水稲作業でツライこと ツラさからの解放

育苗箱削減栽培への取り組み



慣行中苗マット

- 育苗生産資材費＝約8,363円/10a
- 育苗管理時間＝約94.2分/10a

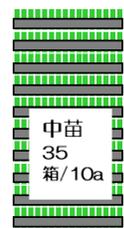
現状

- 健苗育成の安定化
- 育苗管理時間の短縮
- 経費削減の実現

育苗箱削減栽培

- 育苗生産資材費＝約5,029円/10a
- 育苗管理時間＝約56.5分/10a

目標



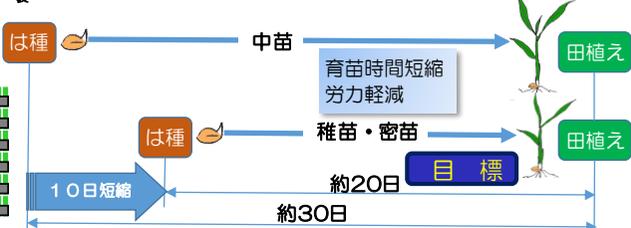
40～50%の減少

目標

資材費削減
育苗床面積縮小
は種時間の短縮
労力軽減



育苗箱削減!



育苗期間短縮!

2 活動の経過 *****

<省力栽培技術ガイド等を作成し全戸に配布>



<稚苗・密苗栽培の生育状況の発信・情報の共有>



試作の栽培経過・結果を
部会員で共有



【R2年の試作への支援】

【R3年の課題解決目標】

【改善点の整理】

【改善点・問題点精査】

の省力化栽培

稚苗栽培の試作

初期生育不良
苗質不良
欠株

育苗管理方法
移植方法
本田水管理

展示ほ調査

密苗栽培の試作

密苗栽培の導入(1戸、2.43ha)

(欠株が発生する新たな課題)

3 活動の成果

稚苗栽培に再チャレンジ!

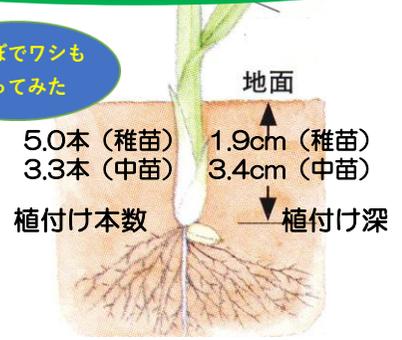
栽培方法の改善効果

田んぼでワシも考えた

- 田植えに集中できるぞ
- 苗の運搬回数が少ないぞ
- 田植えはデリケートに(植え付け深・本数)
- 水管理も適正にしなきゃ

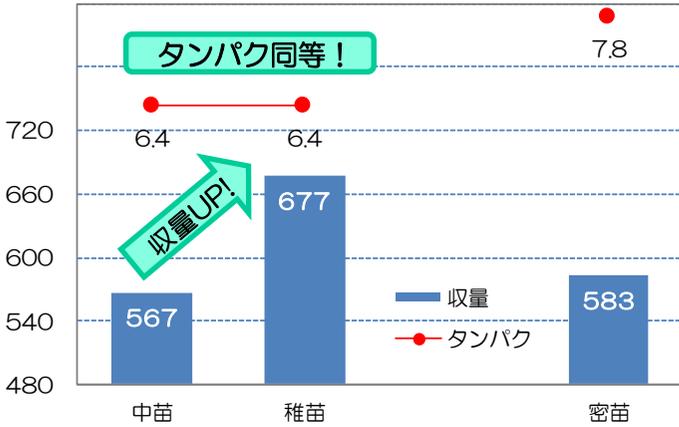


田んぼでワシもやってみた



栽培方法改善の成果 (R3)

収量(1.9mm以上,kg/10a)

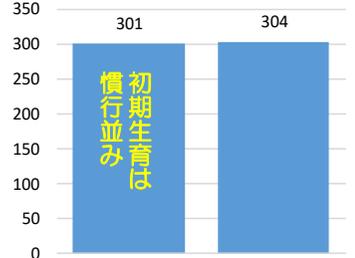


A氏、「ななつぼし」

B氏、「ゆめぴりか」

植え付け方法を改善!
 ● 植付本数を多く・・・
 ● 植付深さを適正に・・・
 水管理をていねいに!

タンパク含有率(%)



(R3, 6/25調査)

会員へ報告書の配布

稚苗栽培結果(R3年)と試作・導入に向けて・・・



稚苗栽培成果報告
育苗箱削減栽培へ誘導

苗床が余った! (2.5m²/10a縮小)



稚苗栽培試作農家は、本年から空いた苗床で”オクラ”の栽培を開始! 直売所に出荷している。

来年も”オクラ”の栽培をしたいとの意向を持っている。

4 今後の活動

- 栽培面積の拡大と導入への誘導
- 他農業者への試作・導入支援

- は種量とかき取り量のバランスを検討し改善
- 移植精度向上のためマット強度を確保する取り組み(発根促進剤)